



4県にまたがる歴史、伝説の息づく霊峰 白山開山1300年特集

石川県、富山県、福井県、岐阜県にまたがる白山は「富士山」「立山」に並び日本三名山に数えられ、地域の白山信仰の拠り所にもなっている。越前麻津（現在の福井県）に生まれた泰澄（たいちょう）大師が夢で女神のお告げをきき、養老元年（717年）に白山の山頂に到達したのが開山のはじまりといわれている。

今年が白山開山のちょうど1300年目であり、特に白山の名前を冠する石川県白山市では、ライトアップイベントやグルメ市など行事が盛りだくさんだ。同市にあり、全国に広がる白山信仰の総本営として全国約三千社から崇敬を集める白山比咩神社も8月9日から白山1300年記念奉祝大祭を行い、地域として大きな盛り上がりを見せている。

今回の企画では、白山支局との連携のもと、白山自体が信仰の対象としても、自然資源としても北陸・中部地域にとってかけがえのない存在であることを改めて特集紙面として情報発信した。白山にまたがる4県はすべて中日新聞グループの新聞発行エリアであり、広告セールスに関しては北陸本社・岐阜支社・福井支社がそれぞれの地域の白山に関係する広告主にアプローチ。自治体、観光協会、地元硬派企業の賛同を得て、最終的に北陸中日新聞朝刊で4P、中日新聞岐阜版・福井版・日刊県民福井では1Pの特集を組むことができた。

白山開山1300年関連のイベントは2017年度を通して実施される。秋には東京新聞を活用した白山特集の実施を予定するなど、北陸本社広告部では今後も白山の魅力発信に尽力していく。

（北陸本社広告部／高木悠）



北陸中日新聞朝刊 4P特集

- 2017年8月5日（土） 中日新聞岐阜版・福井版・日刊県民福井 掲載
- 2017年8月9日（水） 北陸中日新聞朝刊 掲載

中日新聞（岐阜版・福井版）
 日刊県民福井
 にも掲載！！